

長期優良住宅 ローン優遇十減税十補助金のメリット

補助金まで使えば 300万円お得に

長期優良住宅法を工務店が活用する際のポイントをシリーズで解説する。今回は経済対策で強化された金融メリットをアピールする方法について。

税のお得度が小さくなるので注意が必要だ。

先行者に有利

ただ、今後は住宅ネ

様から長期優良住宅仕様とするために300万円ほどコストアップする工務店の場合、メリットがそっくり相殺されることになる。

住まい手への訴求力からすると、すでに長期優良住宅仕様を実現している工務店のほうが大きいのは当然で、優遇策のメリットを最も受けられるのはこうした工務店だ。

ただし、今後は住宅ネットワークなどが続々と長期優良住宅対応商品や対応サポートを打ち出してくる。長期優良住宅対応を考えながらまだその仕様を実現できていない工務店はこれらを活用するのも手だ。

左の表は長期優良住宅認定を受けた場合の「お得度」をシミュレーションしたものだ。

（50棟未満）の長期優良住宅に100万円を補助する「長期優良住宅普及促進事業」まで含め、これは借入額300万円になる。また、これは借入額300万円、年収80万円の場合で、借入

に優遇策を使えば300万円、400万円お得になることは、すでに長期優良住宅レベルを標準としている工務店にとっては、時限措置とはいえない大きなアピール材料となる。

逆

結論から言えば、住

宅金融支援機構の「フラット35S」の20年のぼる。普及促進事業0万円の

置

手

0・3%優遇、住宅ロ

ン減税、中小工務店00万円が補助される

い

場合

00万円が補助される

いは住宅ローン減

税

に

00万円が補助される

いは住宅ローン減

税

に

00万円が補助される

いは住宅ローン減

税

に